



### 第 2770 回例会 No.26

2026年(令和8年)3月13日(金) 晴  
「奉仕の理想」

#### 出席報告

会員 68名中 48名 出席率 70.59 %  
○スピーカー  
株式会社押村商会 代表取締役 押村 宣広様  
(名古屋瑞穂ロータリークラブ)

#### 会長挨拶

会長 室原 國彦さん



皆さんこんにちは、本日は、ゲスト・スピーカーとして押村宜宏様をお迎えしています。後ほど、卓話よろしくお願ひいたします。

本日は、俳優 渡哲也さんのことを話させていただきます。1941年生れで、我がクラブの酒井さんとは同

学年になります。私の母校、青山学院大学の先輩と言う事でより親近感と憧れを持っていました。高田さんも、もちろん同じ大学の先輩として尊敬しています。大学時代は空手部主将で選手権優勝をするぐらい強かったそうです。空手部のメンバーが健康問題で就職が決まらなかった渡を、日活のニューフェイスに勝手に応募して数千人の中から選ばれた逸材だったそうです。ある日、昼食時に日活撮影所にいた憧れの石原裕次郎に挨拶行ったとき、石原は、自ら席を立て「石原裕次郎です。あなたが新人の渡さんですか 頑張ってください」と握手を交わした時、俳優石原裕次郎ではなく、人間石原裕次郎に感激しての一目ぼれだったそうです。この挨拶の感激は、石原軍団=石原裕次郎、渡哲也、館ひろしに受け継がれて行くことになりました。1971年に倒産寸前の石原プロモーションへ入社。周囲からは、そこは、石原裕次郎が一番で、君が一番にはなれない場所だよと言われたけれど、「いいんです、自分は石原と一緒にいたいんです。」と覚悟を持って入社したと、後日、言われています。青山学院大学のパネルディスカッションにパネリス

トとして出演された時のお話ですが、彼は、健康問題で大河ドラマ「勝海舟」を膠原病で途中降板しています。東大病院に入院中、たびたび、ドクターが、小児がんで入院しているかわいい少年少女を連れてきて、「写真を撮ってやってください、と！」しかし、その少年少女たちが一週間もしたら、いなくなっていた、という事実を目の当たりにして、小児がんの子供達に勇気を与えようと全国の病院に行き「頑張れと抱きしめる！」と言う「小児がん撲滅キャンペーン」を続けていられました。

また、阪神淡路大震災の時、1週間炊き出しに行き、被災者の方から「本当にありがとうございました」と拍手を受けて帰って来て、一週間ぶりに風呂に入った時に自分が嫌になったそうです。被災者された人たちは、風呂もないということ。でも、自分は、風呂にも入って食べたいものを食べられる。人間というのは、所詮、人ごとでしか考えられないのかなあと。そうして、被災者のことを忘れつつある自分が非常に恥ずかしく思えたそうです。

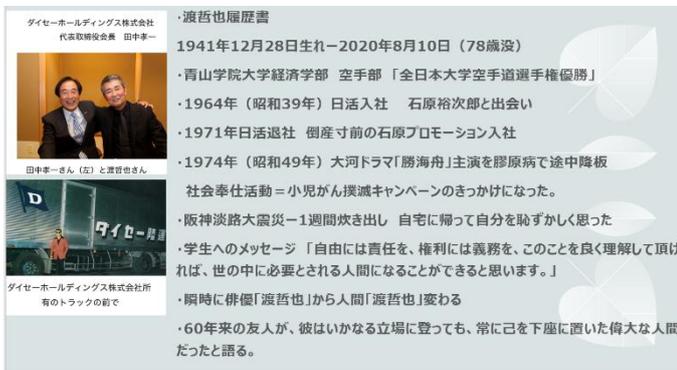
また、学生へのメッセージとして、「自由には責任を、権利には義務を、このことをよく理解して頂ければ、世の中に必要とされる人間になることができると思います。」とも言われております。

最後に、60年来の友人、空手部の同級生のダイセイ田中社長は、「彼は、いかなる立場に登っても、常に己（おのれ）を下座（しもぎ）に置いた偉大な人間だった」と。回想していました。

渡哲也さんの一本筋子が通った判断力・行動力は自分も見習いたいと思います。以上会長挨拶でした。ありがとうございました。

#### 人間 渡哲也





## ニコBOX

(本日は押村様の卓話楽しみにしています。)室原会長  
(押村様本日の卓話宜しくお願い致します。)沼野幹事  
(押村様、本日、卓話宜しく申し上げます。)

加藤(嗣)さん

(本日のスピーカー押村さんとは、昔バンドを一緒にやっていました。今日の卓話楽しみにしています。)

橋本(美)さん

(本日 17:00 から雀友会を開催します。現在 6 名ですので飛び入り参加、歓迎します。宜しくお願いいたします。)

加藤(博)さん

本日合計	15,000 円
累計	1,606,776 円

## 委員会報告

### 『家族旅行会について』

創立60周年記念事業実行委員 久留宮 秀郎さん



通常は親睦委員会の旅行として実施していますが、今年度は創立60周年事業の一環として、能登復興支援を目的とした旅行を企画しました。創立60周年記念事業実行委員の久留宮よりご説明いたします。

本日配布したパンフレットをもとに概要をご紹介します。

今回の旅行は、名古屋駅を出発し、バスで能登・和倉方面へ向かいます。使用するバスは、通常の大型バスよりも座席数を減らし、シートピッチを広くしたゆったりしたタイプのバスを利用します。昨年、三枝樹さんの社員旅行でも使用し、非常に好評でした。

初日は、まず富山県氷見市にある「ひみ番屋街」で昼食をとります。敷地内には大きな道の駅もあり、食事の後にショッピングを楽しむ時間も設けています。

その後、石川県七尾市へ移動し、七尾駅から穴水駅まで「震災語り部観光列車」に乗車します。乗車時間は約40分で、通常の列車ではなく観光仕様の特別な

列車です。座席の配置や内装にも特徴があり、乗車中には震災を経験された語り部の方からお話を伺うことができます。七尾から穴水の区間は復興が進んでおり、ブルーシートのかかった住宅などはあまり見かけなくなっていますが、語り部の方のお話は貴重な体験になると思います。

宿泊は和倉温泉の旅館「のと楽」を利用します。和倉温泉では加賀屋が有名ですが、震災の影響で現在は全館休館となっています。今回宿泊するのはと楽は和倉温泉の入り口付近に位置しており、地盤の影響もあって大きな被害を受けず、現在も通常どおり営業しています。夕食は宴会形式となり、温泉とともに楽しみいただけます。

2日目は和倉を出発し、まず輪島市役所に立ち寄ります。今回「千の光・千の未来プロジェクト」に協賛・サポートを行ったことから、市役所にて贈呈式を予定しています。

その後、同プロジェクトの一環である白米千枚田を訪れ、記念碑の除幕式を行います。また、田植え体験も予定しています。田んぼに入るため膝下ほどまで水に浸かりますが、洗い流すためのシャワーなどの設備も用意されています。

続いて、輪島市町野地区で行われている桜の植樹場所を見学します。植樹自体は4月に終了しますが、プロジェクトの取り組みの一つとして現地を訪問します。

昼食は、お弁当を予定しています。大人数が入れる飲食施設が少ないため、市役所からご厚意で支所の会議室を利用させていただく予定です。帰路は、砂浜を車で走ることができる千里浜なぎさドライブウェイを経由し、北陸道・名神高速道路を通って名古屋へ戻ります。輪島を昼頃に出発するため、名古屋到着は19時頃の予定です。

宿泊の部屋は基本的に3名1室を予定していますが、人数によっては4名になる場合もあります。ご夫婦で参加される場合は、追加3,000円で2名1室をご用意する予定です。

なお、旅行の申込締切は3月31日となっています。参加をご希望の方は期日までにお申し込みください。

## 幹事報告

### 【掲示物】

- ・ロータリーの友誌 2026年3月号掲載記事に関するお知らせ
- ★出欠、申込リスト
- ・3月18日開催 桑名カントリー倶楽部ゴルフコンペ
- ・3月28日開催 中川運河クルーズ～名古屋港水族館1日体験ツアー
- ・5月8日 中村様お別れ会
- ・タキシードレンタル

## 【地区】

- ・3月6日 第8回ロータリー財団運営会議  
(出席：長瀬さん)
- ・3月6日 第3回ロータリー財団全委員会  
(出席：長瀬さん)
- ・3月12日 2026-2027年度クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー分科会全体会議  
(出席：長瀬さん)

## 【配布物】

- ・4月16日開催 ゴルフ会コンペ  
(三好カントリー倶楽部開催)のご案内
- ・4月17日開催  
第6回 創立60周年記念事業実行委員会のご案内
- ・5月14～15日  
能登復興支援『千の光、千の未来 プロジェクト』と  
和倉温泉旅行の案内書と旅行日程表

## 【その他】

- ・中村さんのお別れ会について  
(式典等は行わず、献花のみ)
- ・タキシード レンタル申込案内書について
- ・細則改正案に関する決議について

## 卓話

「内田橋商店街の活性化の取組みについて」

株式会社押村商会 代表取締役 押村 宣広様  
(名古屋瑞穂ロータリークラブ)



皆様こんにちは。名古屋南区からまいりました株式会社押村商会3代目の押村と申します。気軽に「おっしー」と呼んでいただくと、この緊張も少しほぐれますのでよろしくお願いいたします。

私は昭和47年11月2日生まれの53歳です。祖父が戦前に熱田区旗屋町で製本業を創業し、その後戦争を経て内田橋で家業を続けてきました。伊勢湾台風の際には工場が流されてしまいましたが、父が何とか事業をつないでくれたことに本当に感謝しています。

今日は会社の話というよりも、私が今人生をかけて取り組んでいる「内田橋商店街の活性化」についてお話しさせていただきます。

内田橋商店街は南区にあり、かつては熱田神宮の南の玄関口として非常に栄えていました。市電の駅もあり、多くのお客様で賑わっていたそうです。しかし1982年に新内田橋というバイパスができたことで人の流れが変わり、商店街を通らなくてもよくなりました。それが我々の悲劇の始まりで、さらに大型店の進出や時代の流れもあり、徐々に人通りが減り、

6年ほど前にはよくある閑散とした商店街になっていました。組合の解散も危ぶまれる状況で、店主の高齢化や後継者不足など多くの課題を抱えていました。

私自身も長く内田橋に住んでいながら、外へ外へと意識が向いていた時期がありました。38歳のとき、何か外に求めなくてはいけないと思い、名古屋商工会議所の若鯨会に入会しました。そこで多くの仲間と出会うことができました。その同期の仲間の一人が橋本美穂さんで、行動力がありとても優しい方です。私は昔からドラムをやっていたこともあり、ご縁があって同期のメンバーでバンドを組むことになりました。12～13年の若鯨会での活動を通じて多くの仲間ができ、その仲間のおかげで自分に自信を持てるようになりました。加藤嗣郎さんも若鯨会で出会いました。

外部で得た経験をこの内田橋に還元するのは今のタイミングだと思ったのが2021年でした。そこでまず始めたのが「内田橋まつり」です。11月3日は町名制定の日であることから、この日を記念日として未来志向のお祭りとして開催しました。最初は警察に歩行者天国の企画を持ち込んだものの門前払いもありましたが、何とか開催することができました。第1回目の祭りでは商店街の通りが人で埋まるほどの賑わいとなり、やってよかったと実感しました。

また、地域に昔からある熱田祭りの神輿行事も継承していこうと取り組んでいます。担い手不足で廃れてしまいそうだった行事ですが、若い世代とともに続けています。

祭りをきっかけに、メディアにも取り上げられるようになり商店街の空きスペースを活用したチャレンジ店舗などにも取り組みました。私の会社の空きスペースを利用して始めた八百屋さんには大きな反響があり、現在は店舗を構えて営業されています。また名古屋市の制度を活用しながら、その後我々が伴奏支援する形で植物店やカレー店、おぼんざい店、カフェなど、この2年間で10店舗以上が新しく商店街にオープンしました。

さらに、毎週木曜日には空き地を利用したキッチンカーのミニマルシェを開催しています。子どもが少ないという課題もあり、空きスペースを利用し、毎回違う場所に出店する駄菓子屋さん「スナックかくれんぼ」も始まりました。シェアハウスや民泊もでき、台湾など海外からの宿泊客も訪れるようになってきました。

今後は「日本一ワクワク挑戦できる商店街」を目標に、新しいビジネスに挑戦しやすい環境をつくり、人と人が気軽につながる場所にしていきたいと考えています。また熱田神宮への観光客などインバウンド需要を取り込みながら、高齢者の買い物環境の改善など地域の課題にも取り組んでいきたいと思っています。

さらに行政とも連携し、「明治・内田橋・堀川まちづくり協議会」を立ち上げるまでになりました。堀川沿いの遊歩道整備や地域のまちづくりなど、商店街だけでなく地域全体の活性化につなげていきたいと考えて

ています。

私は多くの人とのつながりに支えられてここまで活動してこれたことができました。ロータリーもそうですが、これからもつながりを大切にしていきたいと思っています。

皆様もきっと故郷を愛していると思いますが、私は「I LOVE 内田橋」です。拙い話ではありましたが、少しでも参考になれば幸いです。ご清聴ありがとうございました。

### 名古屋みなとロータリークラブ事業実施予定

月	日	今後の例会予定
3	27	<b>卓話</b> 17F「コスモス」 株式会社浜木綿 代表取締役社長 林永芳様 (名古屋千種ロータリークラブ)
4	3	<b>港友例会</b> 17F「コスモス」
	10	<b>地区研修協議会報告</b> 17F「コスモス」
	17	<b>卓話</b> 17F「コスモス」 有限会社ジャスティス 代表取締役 藤野直子様 (名古屋名東ロータリークラブ)
	24	<b>例会変更</b> 4/21 (火) <b>創立 60 周年記念式典</b> 16F「タワースポールルーム」
5	1	<b>休会</b>
	8	<b>港友例会</b> 17F「コスモス」
	15	<b>例会変更</b> 5/14 (木) -15 (金) <b>家族旅行会</b> 能登復興支援『千の光、千の未来 プロジェクト』と和倉温泉旅行
	22	<b>卓話</b> 17F「コスモス」 愛知大学地域政策学センター 研究員 (元愛知大学教授・元地域政策学部長) 新井野 洋一様
	29	<b>休会</b>

### 名古屋中央ロータリーアクトクラブ例会予定

#### 3 月度例会 「 コミュニケーション例会 」

日付 2026年3月27日(金)  
 時間 受付開始 / 19:00~  
 例会 / 19:15~20:30  
 場所 今池ガスビル 7階 サファイアルーム  
 愛知県名古屋市千種区今池 1 丁目 8-8  
 最寄駅: 市営地下鉄東山線・桜通線  
 「今池駅」10 番出口直結  
 登録料 なし

### 1 奨学生からロータリー会員へ — 二人の歩み —

奨学期間終了後、多方面で活躍する米山学友たちの中で、300 人を超える米山学友がロータリー会員となつています。その中で、第 2620 地区富士宮 R C に入会した青山チャリットさん (2006-08 / 静岡日本平 R C) と、第 2530 地区いわき平 R C に入会したソー タイさん (2012-13 / いわき平 R C) のメッセージをご紹介します。

#### 【青山チャリットさん】



奨学生時代、スリランカの子供たちへの文房具贈呈プロジェクトを世話クラブの皆さまと実現できた経験が私の原点です。この経験は、その後米山学友会でスリランカ支援活動を続けることにもつながり、奨学生時代にいただいた「支援の種」がその後の活動へと広がっていることが嬉しです。ロータリーに入会してからは、「地域や社会のために何ができるか」を常に考えるようになりました。視野も広がり、物事をより長期的・多角的に捉えるようになりました。日々の仕事や行動でも、「誠実さ」と「社会への貢献」を意識するようになったことが大きな変化です。多くの方に支えられた経験を胸に、今度は自分が誰かを支える側として地域社会や社会課題の解決に取り組み、信頼されるロータリー会員へと成長していくことが今後の目標です。

#### 【ソー タイさん】



ロータリー会員の皆さまの卓話は、奨学生当時の私にとって貴重な学びの機会でした。それぞれの分野で活躍されながら社会や平和のために尽力されている姿に深い尊敬の念を抱き、いつか自分もロータリーの一員になりたいと思うようになりました。その思いから、ロータリーへの入会を申し出ました。実際に入会できたことを大変光栄に思うとともに、人生の大きな夢の一つが叶ったと感じています。これからはロータリー会員としての自覚と責任を持ち、地域社会への貢献に取り組んでいきたいと考えています。また、諸先輩方から多くを学びながら人のご縁を大切に、これまでいただいたご支援への感謝を胸に、社会や地域、そして平和のために少しでも役に立てる存在になれるよう努力していきたいです。

### 2 寄付金速報 — やや回復傾向に —



2 月末までの寄付金は前年同期と比べて 3.3% 減 (普通寄付金: 1.5% 増、特別寄付金: 5.8% 減)、約 3,460 万円の減少となりました。

皆さまからの変わらぬ厚いご支援に深く感謝いたします。来月以降は、新規米山奨学生に関する行事も増加してまいりますので、引き続きご協力を賜りますようお願いいたします。

**第 2610 地区米山学友会 20 周年記念式典開催のご案内**

◇2026 年 5 月 16 日 (土) 13:30 開始予定  
 ◇会場: 金沢ニューグランドホテル 金箔  
 ※17 日に能登復興支援活動見学・視察開催予定  
 ※申込期限は 4 月 30 日 (木) まで※

詳細はこちら

### 3 地域の子供も食堂を支援 第 2620 地区米山学友会

2 月 21 日、第 2620 地区米山学友会が山梨市の「子ども食堂 風の子どもステイ」を訪問し、子ども食堂支援の寄付を行いました。米山学友 3 人を含む計 5 人が参加しました。



炊事器具とお米を寄付しました。当日は施設スタッフによる活動紹介の後、同学友会の孫会長 (2012-14 / 大阪にわ R C) から熊谷陽子代表へ目録が贈呈されました。熊谷代表は、「子ども食堂の活動は地域の支えによって成り立っており、このようなご支援は大変助になります」と感謝を述べました。孫会長は「実際に施設を訪問し、子ども食堂が子どもたちの大切な居場所となっていることを実感しました。今後も地域とのつながりを大切にしながら、社会に貢献できる活動を続けていきたい」と語りました。

同学友会ではこれまで、スリランカやベトナムの子供たちへの海外教育支援に取り組んできました。今年は日本の子どもたちにも貢献したいとの思いから、子ども食堂への支援を検討し、柳場文彦地区学友会委員長の紹介で同施設を訪問。活動や運営への理解を深めたくて支援を決定しました。その後、地区大会で募金活動を行い、集まった支援金で

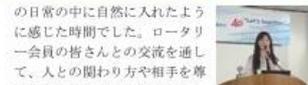
### 4 タイ米山学友会総会開催 新会長選出

2 月 21 日、タイ米山学友会総会がバンコク市内で開催され、米山学友とロータリー会員ら 43 人が参加しました。総会では会長のベチニシ ナレスさん (1994-96 / 越谷 R C) の挨拶が始まり、活動報告、会計

報告が行われました。その後、次年度会長選挙が行われ、同学友会の設立に携わったインフラチャット スンソットさん (2006-07 / 横浜鶴見北 R C) が会長となることとなりました。

### 5 「温かな支えを力に、夢へ」 奨学期間終了者インタビュー

米山奨学生が奨学期間を終了し、新たな一歩を踏み出す 3 月。今回は、張佳文さん (2025-26 / 東京立川こぶし R C) に、米山奨学生として過ごした 1 年間の振り返りをいただきました。



【張佳文さん】  
 例会に初めて参加したとき、皆さんが温かく接してくださり、拙い日本語にも丁寧に耳を傾けてくださいました。その経験から、いつか自分もこの場にふさわしい大人になりたいと思いました。印象に残っているのは、バーベキュー例会です。音楽を聴きながら食事を楽しみ、子どもたちと日本の遊びをしました。日本の方々

の日常の中に自然に入れたように感じた時間でした。ロータリー会員の皆さんとの交流を通して、人との関わり方や相手を尊重する姿勢の大切さを学びました。カウンセラーの横川みどりさんは、いつも親身に支えてくださり、日本の生活を支える心強い存在でした。将来は、アジアから世界へ発信できるウエディングドレスや礼服のブランドをつくるのが夢です。卒業後は企業で経験を積み、夢を形にしていきたいと思っています。

**モンゴル米山学友会 総会開催**

■開催日時: 5 月 5 日 (火) 15:30~17:30 (現地時間)  
 ※オンライン: 16:30~18:30 (日本時間)  
 ■会場: CONTINENTAL HOTEL ※申込期限は 3 月 25 日 (水) まで※

詳細はこちら